

(様式 1-2)

提出日：2021 年 05 月 24 日

2020 年度 大阪大学蛋白質研究所 拠点事業

## (2) 研究成果の概要

課題名		免疫老化マーカー群による生活習慣病の発症リスクの検討と新規治療薬の開発	
研究代表者	氏名	西浦 弘志	
	所属機関名・部局名	兵庫医科大学・病理学講座・病理診断部門	
	職名	助教	
事業名 (該当の事業名の右欄に○)	<input checked="" type="radio"/>	共同研究員	
	<input type="radio"/>	超高磁場NMR 共同利用研究課題	
	<input type="radio"/>	クライオ電子顕微鏡共同利用研究課題	
	<input type="radio"/>	客員フェロー	
蛋白研受入担当教員名		川上 徹	
<p>新規のシェーグレン症候群モデルマウスの治療ターゲットとして、新規の GPCR X を同定した。新しいシェーグレン症候群患者の治療薬の開発を目的に、3 種類の GPCR 抗原ペプチドを準備して、ウサギに免疫し、ポリクロ抗体を作製した。他に、GPCR X の下流シグナルを阻害する 6 種類のペプチドを作製した。</p> <p>GPCR X を常時発現する細胞を用いて、ウェスタン法で下流シグナルの変化を評価して、3 種類の GPCR ポリクロ抗体と 6 種類の GPCR X ペプチドの阻害効果を確認した。</p> <p>特許取得を目指して、GPCR X 阻害剤を修飾する目的に、継続して、新規のスクリーニング系を開発している。</p>			